

赤十字 VOL.06 きょうと

2014

編集・発行：日本赤十字社京都府支部 〒605-0941 京都市東山区三十三間堂廻り町644
TEL 075-541-9326 FAX 075-541-1361
ホームページ <http://www.redcross-kyoto.jp>

あなたが支える赤十字活動

「苦しんでいる人を救いたい」それがわたしたち赤十字の原点です。

いつ、いかなる時もその想いを胸に、

災害時の医療救護活動、救援物資の配布、災害に備えて行う訓練など日々活動しています。

その活動を支えているのは、皆さまからお寄せいただく「活動資金」です。



愛の力を信じている。

活動資金にご協力ください。

平成25年9月京都府台風18号災害

平成25年9月に発生した台風18号で、制度が設けられてから全国で初めて「特別警報（大雨）」が発令されました。台風は、豪雨により京都府内の広範囲に大きな被害をもたらし、京都府支部では、直ちに救援物資を搬送するとともに、舞鶴赤十字病院の医療救護班が出動しました。また、赤十字ボランティアによる復興支援活動も行いました。



台風18号被災地区での舞鶴赤十字病院の医療救護活動



台風による豪雨で増水した桂川（嵐山橋の様子）

義援金募集結果

募集期間	平成25年9月24日～11月29日
京都府支部取扱件数及び金額	1,035件 38,993,247円

京都府民並びに全国の皆様からご協力いただきました。本当にありがとうございました。

～防災訓練への参加～ 医療救護訓練

京都府支部では管内各施設に常備救護班を編成し、近畿府県の赤十字施設との合同訓練や、京都府、京都市等の防災訓練に参加し、他機関との連携を推進しています。また、各施設でも訓練を行い、特殊災害等にも備えています。



第4ブロック支部合同災害救護訓練（淀川河川敷） 5/25



第4ブロック支部合同災害救護訓練（京都第一赤十字病院ヘリポート） 5/25



化学災害に備えた除染訓練（京都第二赤十字病院） 11/15



京都市総合防災訓練 8/31

赤十字レスキューチェーン京都(防災ボランティア)

有事の際の活動はもとより、日頃から迅速な初動対応ができるように研修等も行っています。



京都府
台風18号災害
の支援活動



救護所
設営研修

災害救護活動を支える機材の整備

ご協力いただいた活動資金で整備いたしました。



通信指令車



ドラッシュ
テント



ドラッシュ
テント内部



ドラッシュ
テント
組立て訓練



救護員輸送車

ドラッシュテントってなに？

大規模災害発生時、速やかに現場に運んで展開できるフレーム一体式テントのことで、風、断熱性、遮光性に優れており、空調設備も装備しています。また、複数のテントを連結して救護スペースを拡大することもできます。

赤十字講習会

日本赤十字社では、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命にもとづき、講習会を開催しています。

京都府支部では、いざという時、すぐに役立つ救急法・水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法等の講習普及を行っています。



救急法



水上安全法



健康生活支援講習



幼児安全法

青年奉仕団(RCY)の活動

～若者から若者へ～ HIV/AIDS予防啓発研修会

全国の青年赤十字奉仕団を対象に、西日本会場として京都のメンバーが中心となり、KKR京都くに荘にてピア・リーダー養成研修会（HIV/AIDS予防啓発のリーダー育成研修）が行われました。



青少年赤十字(JRC)の活動

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター

8月3日～5日(2泊3日)、宇治市総合野外活動センター「アクトパル宇治」にて平成25年度青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターを開催しました。府内の小・中学生、高校生83名が参加しました。



開会挨拶での様子



朝のつどい

JRC国際交流事業(受入)

9月12日から18日、第4(近畿)ブロック日赤支部合同で国際交流事業(受入)が行われ、総勢17名のマレーシア赤新月社メンバー、指導者が来日し、国際親善を深めました。



和菓子づくりに挑戦するマレーシアメンバー



伝統工芸の象徴づくり



ペンダントトップ完成品▶

有功会の活動

京都府支部有功会は、赤十字の精神に賛同し、赤十字の行う人道的な諸活動を支援していきこうと、日本赤十字社から金色有功章を贈られた方々(50万円以上の寄付者)によって昭和37年に全国で4番目に結成された団体です。



海外視察旅行

京都第一赤十字病院

開設以来、保健・医療の中核病院として地域に貢献してきた当院は平成26年に創立80周年を迎えます。

救命救急センター及び総合周産期母子医療センター、京都府基幹災害医療センターとしての役割を担い、当院の災害時派遣医療チーム（DMAT）は、東日本大震災はもとより、福知山花火大会の事故等にも出動し、重篤な救急患者の救出にあたりました。

平成23年に着手した改築工事により完成したC棟2階に集中治療病棟が整備され、より高度な急性期医療を提供します。また地階には新たに放射線治療装置を増設、既存装置と2台体制で地域がん診療連携拠点病院として高精度放射線治療を提供していきます。

平成26年秋に管理棟、さらに1年後には立体駐車場を整備し改築事業を完工する予定です。

病院の外観



新設の高精度放射線治療装置



京都第一赤十字病院

〒605-0981 京都市東山区本町15-749

☎(075)561-1121

FAX(075)561-6308

京都第二赤十字病院

高度な検査・治療を必要とする患者ニーズに応えるべく、放射線関連装置の更新を行いました。まず、血管撮影装置を更新し、被写体の正面と側面など2方向の同時撮影が可能となりました。血管3D撮影に加え、コーンビームCTの撮影、さらには被ばくを大幅に低減できる最新の機能も加わり、長時間に及ぶIVR（血管内治療）での被ばく線量を半分程度に抑えることが可能となりました。

次にCT装置の更新です。導入された80列マルチスライスCTは、従来の高精細画像はそのままに約2倍の高速撮影が可能となりました。また、開口径が拡大され、検査における圧迫感や閉塞感が軽減し、体位の制限が多い救急患者さんでもポジショニングが容易になり、撮影の適応が拡大しました。

これら新しい装置を活かし、より一層質の高い医療を提供し、患者サービスの向上を図ってまいります。

FPD搭載型
バイプレーン
血管撮影
装置



80列マルチ
スライスCT



京都第二赤十字病院

〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上る

☎(075)231-5171

FAX(075)256-3451

舞鶴赤十字病院

当院は「舞鶴西地区に病院を！」という住民の切実な要望に応え、昭和28年に誕生し、平成25年に60周年を迎えました。現在、東館（回復期病棟・リハビリテーションセンター）の工事が進められており、平成26年秋頃完成予定です。病床数は198床で、一般病床150床・療養病床48床ですが、工事完成後は療養病床を回復期病床へ移行します。

また、赤十字の使命である「災害救護」も積極的に行っており、平成25年9月に発生した台風18号による水害では、被災した地域へいち早く救護班を派遣しました。

小規模病院ながら、地域に根差した「完結型医療の提供」をモットーに、急性期から慢性期、在宅復帰まで途切れない医療を提供しています。



完成予想図
(平成26年秋頃完成)



被災地区へ
向かう医師
と看護師

舞鶴赤十字病院

〒624-0906 舞鶴市宇倉谷427

☎(0773)75-4175

FAX(0773)76-3724

京都府赤十字血液センター

京都府では3ヶ所の献血ルームと4台の献血バスが府内を巡回し、1日平均310人に献血のご協力をいただいています。この310人というのは、京都府内で1日に必要な献血者数です。輸血を必要とする患者さんのうち約85%の方は継続した輸血を受けられており、年齢も50歳以上の方が約85%を占めます。近年、移植手術等の増加で輸血用血液の需要が高まっており、2027年には献血者が約101万人不足するという推計が出ています。輸血医療を支えるために、府民の皆さま一人ひとりの献血へのご協力が、より一層必要となっています。



献血ルーム
四条



献血
わくわく体験
(3月開催)

京都府赤十字血液センター

☎(075)531-0111

〒605-0941 京都市東山区三十三間堂廻り町644

FAX(075)541-9485

京都府赤十字血液センター 福知山出張所

☎(0773)27-6630

〒620-0853 福知山市長田野町1-31-1

FAX(0773)27-6723

献血ルーム四条

☎(0120)640-388

〒600-8006 京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99 四条SETビル5F

献血ルーム京都駅前

☎(0120)569-356

〒600-8216 京都市下京区烏丸通七条下ル 京阪京都ビル6F

献血ルーム伏見大手筋

☎(0120)731-350

〒612-8053 京都市伏見区東大手町763 若由ビル1F

5月は赤十字運動月間

日本赤十字社は、5月1日から「赤十字運動月間」として全国キャンペーンを実施します。

月間中は、広く赤十字思想の普及と活動紹介等に努めるとともに、活動資金のご協力と「赤十字社員（支援者）」の拡大をお願いしています。

●キャンペーン「ひろげよう赤十字の輪(和)」

5月11日～12日、赤十字運動月間の一環として、京都駅前地下街ポルタプラザにおいて、月間キャンペーン「ひろげよう赤十字の輪(和)」と題して、パネル展、健康相談コーナー、救急法体験コーナーなどを設置し、多くの方が来訪されました。



救急法体験コーナー

なぜ5月が赤十字運動月間？

赤十字の創始者アンリー・デュナンの生誕日が1828年5月8日、日本赤十字社の前身である博愛社の創設が1877年5月1日であることにちなみ、日本赤十字社は、5月を「赤十字運動月間」と位置付けています。

●「まいづる田辺城まつり」での広報啓発

5月26日(日)まいづる田辺城まつりが開催され、日赤ブースの出展による赤十字のPRと日赤舞鶴市地区長（舞鶴市長）及び地区関係者が、まつりに訪れた皆さんに赤十字啓発チラシを配布し、赤十字をPRいたしました。



日赤ブース前で舞鶴市地区長



北区民春まつり日赤ブースの様子

●「ふれあいまつり」等での広報啓発

京都市内の各区で開催されるふれあいまつり等の多くに広報啓発ブースを設置し、赤十字活動のPRにとめました。

ご自身や故人の意志を広く社会に役立てるために

日本赤十字社の活動は、赤十字の理念や活動に賛同して、ご加入いただく「社員」による「社費」と広く寄せられる多くの方の「寄付金」によって支えられています。これら活動資金へのご協力をお願いいたします。

ご協力いただきました場合には、税制上の優遇措置が認められています。

区分	適用期間	措置の内容
個人	通年	拠出された寄付金額から2,000円を引いた金額が、年間の所得額の合計から控除されます。
法人	通年	法人の有する損金算入限度額とは別枠で、特定公益増進法人への寄付金として、損金算入できます。
相続財産	通年	相続財産から拠出された寄付金は、相続税の課税価額に算入されません。